

委員長	事務局長	課長	主務係長 : 関係係長	書記
令和5年 第8回委員会会議録				
1	開催年月日 令和5年4月11日(火)			
2	開閉会時刻 開会:午前11時00分 閉会:午前11時45分			
3	場 所 福岡市選挙管理委員室			
4	出席委員 稲員委員長、大石委員長職務代理者、江藤委員、石井委員			
5	事務局職員 事務局長、選挙課長、庶務係長、選挙係長			
6	傍聴者 なし			
7	議 題			
	(1) 議案			
	議案第22号 専決処分の承認を求めることについて			
	議案第23号 福岡市議会議員一般選挙における当選人の住所及び氏名について			
	(2) 報告事項			
	① 統一地方選挙の結果について			
	② 福岡市議会議員一般選挙における公職選挙法第201条の8第2項において準用する第201条の6第3項の規定による確認書の交付等の状況について			
	③ 政治活動のために使用する事務所に係る立札及び看板の類に表示する証票の交付状況について			
	(3) その他			
	次回以降の委員会の開催予定日時			
	・令和5年4月20日(木)午前10時30分			
	・令和5年5月8日(月)午前10時30分			
	・令和5年5月22日(月)午前10時30分			
8	議事次第(○:出席委員、▲:事務局職員)			
	(1) 議案			
	議案第22号及び23号について、事務局から説明を行い、審議の結果、出席委員の全会一致で可決された。			

(2) 報告事項
報告事項について、事務局から資料の説明・報告を行った。
(3) その他
・次回以降の委員会の開催日時は、資料記載のとおり決定した。
【質疑等】
○ 投票率がかなり低いですが、今回、知事選挙がなかったことが関係するのかわかりません。
▲ 知事選があった時は、知事選が1週間ほど早く始まるため、選挙の機運が早く高まることや、一般的に同時に行われる選挙数が多い方が投票率は高くなる傾向にある。
○ 知事選があった都市も含めて、今回の統一地方選挙は戦後最低の投票率となっており、必ずしも知事選がなかったからとは言えないように思う。福岡市においては、期日前投票所を商業施設に増やしたり努力はしているが、それでも投票率は低い。また今回、選挙に関する報道が非常に少なかった。メディアのあり方も含めて、大きな視点での分析が必要である。
○ 商業施設での期日前投票者数は伸びており、全体の投票率を押し上げることを期待していたが、そうはならなかった。選挙管理委員会として投票率を上げるための何かしらの提言や取組みができないのだろうか。
▲ 県の投票率は35.5%で、福岡市は今回それを約1.3%上回っている。県全体が下がる中で福岡市は多少、健闘しているものの、それでも30%台と低い状態である。また、選挙期間中の選挙に関する報道の少なさは感じており、例えば、明るい選挙推進協議会に報道機関も委員として入っているため、機会を捉えて意見交換等を行うことはできると思う。
○ 主権者教育が叫ばれているが、実際にどういうふうに行われているか見えてこない。小中高だけではなく各世代で取り組まないと、この危機的状況の投票率は改善されないと思っている。垣根を取り払って検討していく必要がある。
○ 北欧などでは小さな頃から主権者教育が行われ、自分の判断や決断が重視されており、自然と選挙の投票率も高くなっている。選挙管理委員会だけではなく、そういった根本的なところから変わらないと難しいように思う。
○ 啓蒙していくことは大切なことであるが、有権者の政治に対するイメージが投票率などにも大きく影響しているものと思われる。